

撤収手順

Model 2000038562

VC 2-POLE SHELTER

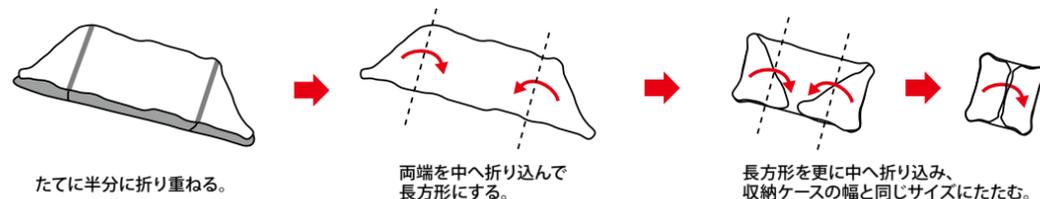
[VC 2ポールシェルター]

取扱い・組立て説明書

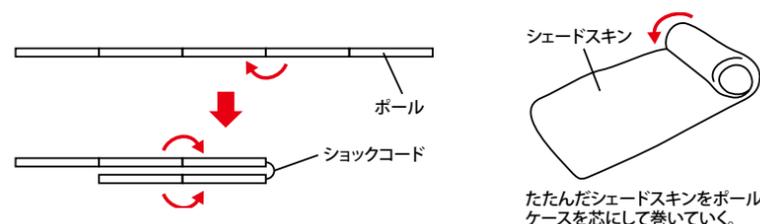
STEP 1 シェードを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

**注意**

使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。
濡れたままの状態での収納すると、色移りやカビ発生の原因となります。



STEP 2 ポールを全て折り畳みポールケースに収納します。
シェードスキンを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。

**注意**

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード（ゴム）全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



コールマンジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項



危険

この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。

●結露について

テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意



注意

この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納すると腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

本製品のVC (コットン混紡ポリエステル) 素材において

- 防災・不燃加工をしておりません。化学繊維のみの生地より比較的火の粉による穴があきにくい素材ですが、幕体に火が当たるような位置での火器使用、焚火はしないで下さい。火災の原因となります。
- 防水加工をしていない為、強い雨・長時間の雨の日は水が漏れる恐れがございます。
- 綿とポリエステルの混紡である為、織りムラ・キズが出る場合がございますが、品質上の問題はない事ご了承ください。
- 特性として、多少の伸縮や色褪せが出る場合がございます。
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管して下さい。カビ発生の原因となります。

各部の名称・セット内容

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- シェードスキン 1張
- メインポール (ハンガー付) 2本
- サポートポール 2本
- 自在ロープ (ロング) 2本
- 自在ロープ (ショート) 12本
- ペグ 26本



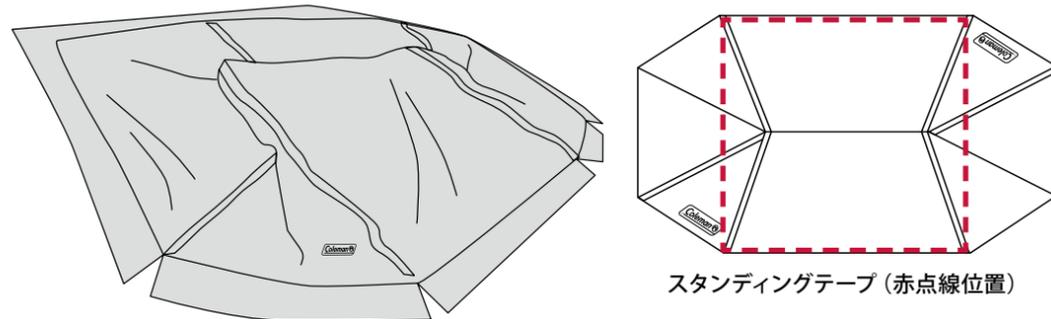
完成図



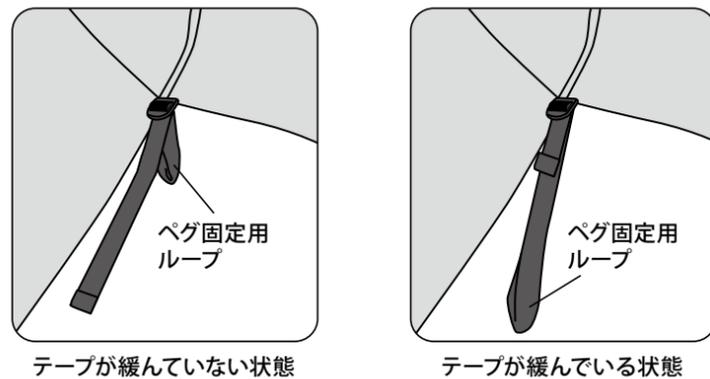
設営手順

I シェードスキンを広げる

STEP 1 シェードスキンを広げます。
(スタンディングテープのバックルが留まっているか確認してください。
止まっていないとうまく立ち上がりません。)



STEP 2 アジャスターテープを緩めます。
シェードスキンのスカート側にあるアジャスターテープを全て緩めておきます。
(ペグ固定用ループがある方を長くします)

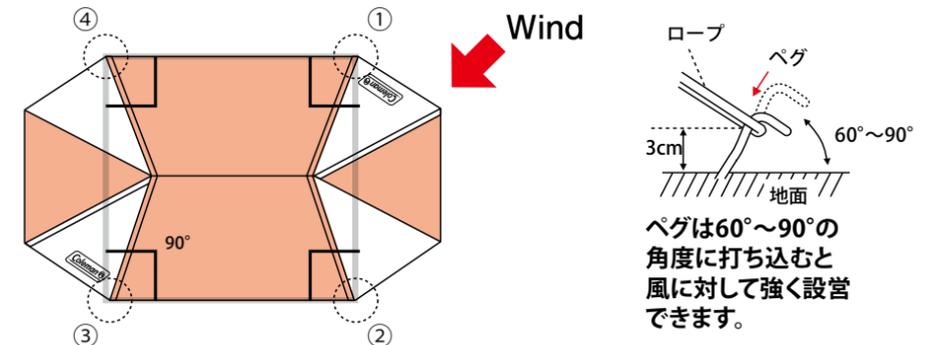


III 設営位置を決め仮留めする

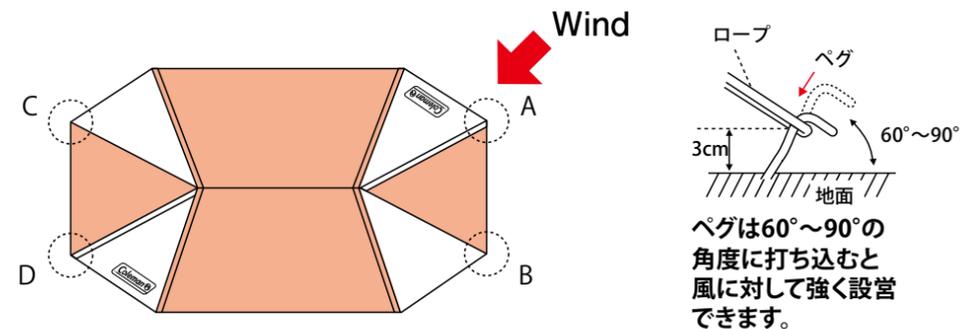
STEP 3 前後左右のファスナーを全て閉めます。

注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。
ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

STEP 4 設営位置を決め、図のように4ヶ所のペグ固定用ループを風上より順に(①~④)にペグを打ち込みシェードを仮留めします。それぞれのスタンディングテープが90°になるように仮留めしていきます。(赤の面は設営後、張り上げまたはドアとして巻き上げることができます。丸のヶ所のアジャスターテープのループを仮留めします。)



STEP 5 次に、左右のシェードスキンも広げ、図のように4ヶ所のペグ固定用ループを風上より順に(A~D)にペグを打ち込み仮留めします。(赤の面は設営後、張り上げまたはドアとして巻き上げることができます。丸のヶ所のアジャスターテープのループを仮留めします。)



III メインポールでシェードを立ち上げる

STEP 6 メインポールを伸ばします。

ランタンハンガー



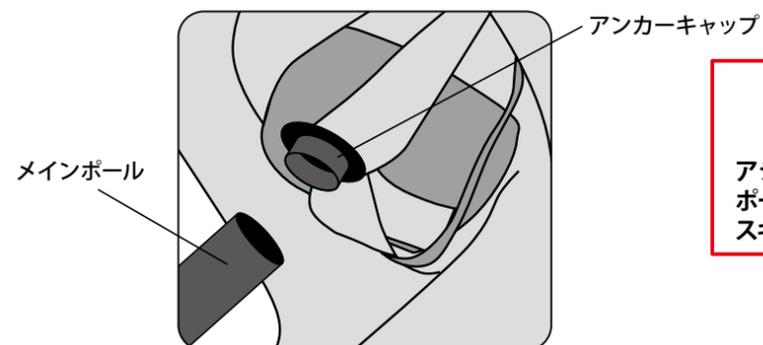
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 7

ファスナーを開け中に入り、メインポールをシェード内側天井にあるアンカーキャップに差し込んで、2本の内まずは1本を立ち上げます。

※立ち上げる前にSTEP2のアジャスターテープが緩んでいるか確認します。

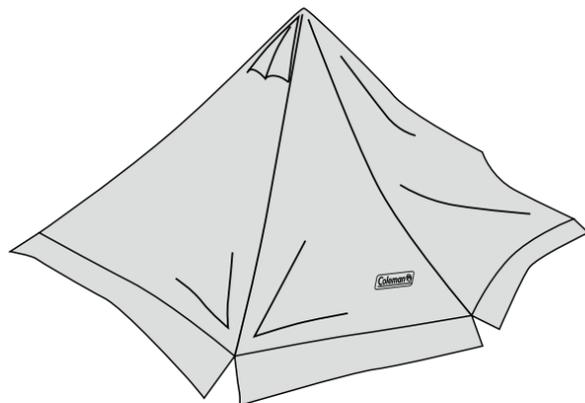
※ランタンハンガーが付いている方が上になります。

**注意**

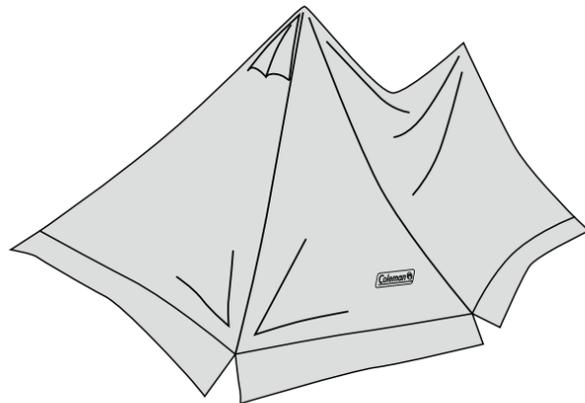
アジャスターテープを緩めず、無理にポールで立ち上げようとするとシェードスキンが破損する可能性があります。

STEP 8

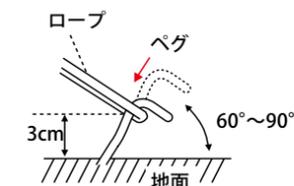
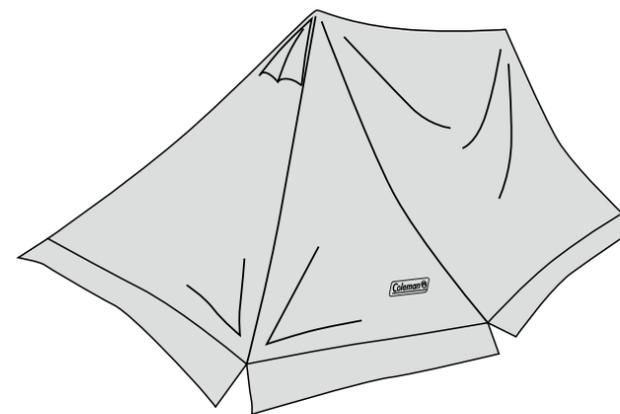
1本立ち上げたらファスナーを閉めます。ポールの周り4ヶ所の仮留めしていたアジャスターテープでシェードのたるみを調整して立たせます。

**STEP 9**

もう1本もSTEP 7とSTEP 8同様に立ち上げ、アジャスターテープでたるみを調整して立たせます。

**STEP 10**

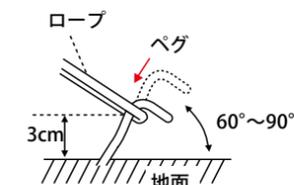
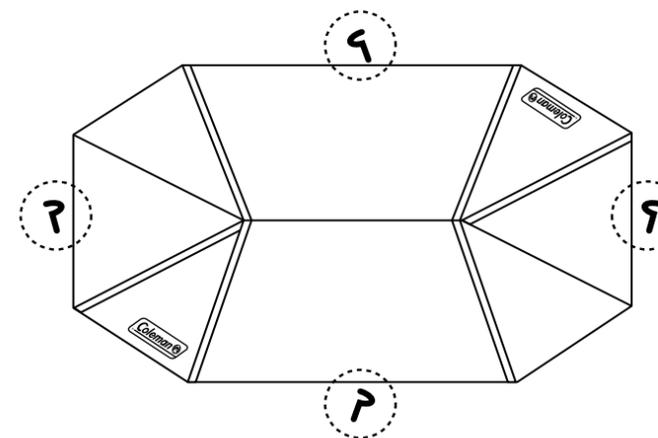
シェードスキンに張りが出るように、仮留めしていたアジャスターテープのペグを打ち直しシェードスキンを固定します。また、アジャスターテープの長さを調整してゆがみやたるみがなくなるように全体を調整します。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

STEP 11

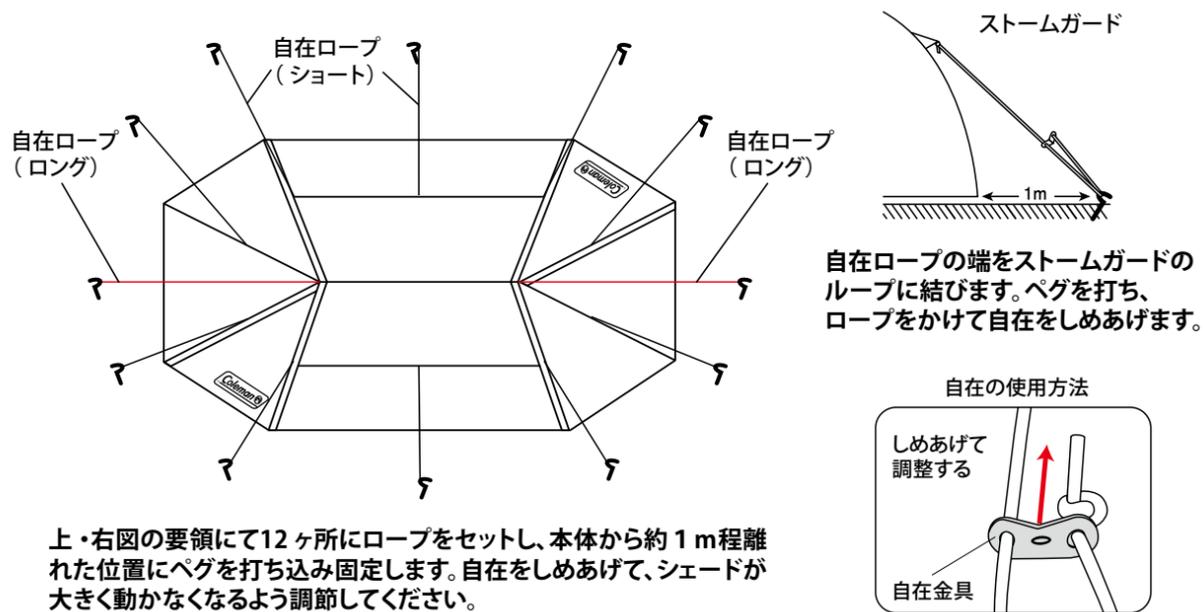
前後左右(下図の○の4ヶ所)のラバーリングをシェードスキンに張りかざるようにペグで固定します。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

IV ロープを張り固定する

STEP 12 ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、シェードの安定性を高めます。両側面にあるループ (ストームガード) に付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

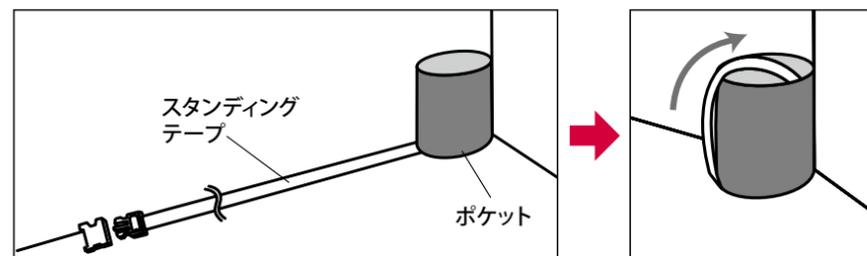


上・右図の要領にて12ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、シェードが大きく動かなくなるよう調節してください。

注意 大きなサイズのシェードは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

V スタンディングテープを外す場合

STEP 13 シェードをペグとロープで固定した後は、スタンディングテープをはずすこともできます。スタンディングテープをはずした後は、近くのポケットに収納してください。



VI シェードスキンを張り上げる場合

STEP 14 シェードスキンを張り上げる場合は、付属のサポートポールを使用します。



注意 雨天時にシェードスキンを張り上げる際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。

注意 風の強い時は必ずシェードスキンを閉じてください。シェードが倒壊する恐れがあります。

STEP 15 シェードスキンを張り上げた後、トグルとループでスカートを巻き上げることができます。



memo

memo